

# 児童ポルノ処分歴隠す

## 知立わいせつ教師 改名、偽履歴書で

愛知県知立市立小学校の女子児童への強制わいせつ容疑で逮捕された教師の男が、埼玉県の公立小教師だった四年前、児童買春・ポルノ禁止法違反容疑で逮捕され、懲戒処分を受けたことが捜査関係者や市教委への取材で分かった。男は改名した上、履歴書に職歴などを隠すうそを記載。都道府県間で情報共有がなされず、知立市教委は男の処分歴などを知らずに採用していた。

男は臨時任用講師の大田智広容疑者(三〇)＝愛知県刈谷市泉田町。二〇一三年六月、インターネットの動画投稿サイトで知り合った男子高校生(当時)の携帯電話



話に、児童ポルノの写真をメールで送ったとして神奈川県警に逮捕された。罰金五十万円の略式命令を受けた後、埼玉県教委から停職六カ月の懲戒処分を受け、

依頼退職した。

当時の名前は「大田知宏」だったが、退職後に改名し、教員免許状も「大田智広」に変更していた。

一五年四月に大田容疑者を採用した知立市教委は履歴書や教員免許状、運転免許証を提出させていたが、履歴書には大学卒業以降は「在家庭」とだけ書かれ、職歴も処分歴も記されていなかった。市教委の本多泰裕学校教育課長は「履歴書は基本的に自己申告。過去

の処分歴などは分からなかった」と話している。

愛知県警安城署によると大田容疑者は四月下旬～五月上旬、勤務先の知立市の小学校のトイレで低学年の女子児童にわいせつな行為をした容疑で逮捕され、「小さい子どもが好きで、自らの欲望を満たすためだった」と容疑を認めている。

### 教員採用時に 国の対策急務

性犯罪の加害者の治療に取り組む性障害専門医療センター(SOMEC)代表理事の福井裕輝医師(四七)は、性犯罪を犯した人子どもに関わる仕事に就く状況が放置されている現状を問題視する。「学校教員が性犯罪に及ぶ事件は昔から起きている。国全体で子どもを守るうそをする意識が低い」と指摘する。

欧米諸国では、学校教員などの採用時に小児性愛の嗜好がないかを確かめる専用のスクリーニングテストを実施している国もある。人権上の問題に配慮する必要はあるとした上で「行政ができることがもつ少しある」と対策を求める。

く、意図的に隠されると確認するのは難しい」と話す。

教員免許を偽造して教壇に立つ事件も各地で起きており、文部科学省の長谷浩之教員免許企画室長は「ある程度、全国的に情報を共有できる仕組みができないか検討している最中」と話す。教員免許を管理する都道府県で個人情報保護条例に違いがあることなどが、制度づくりの妨げとなっているとの指摘もある。

## 「他県で犯罪歴」 情報共有されず

公立学校の教員は懲戒免職になると、教員免許は失効し全国の教育委員会に通知される。だが、今回の大田容疑者のように停職処分まで依頼退職した場合はこうした情報は共有されず、別の都道府県教委の採用試験では、履歴書の内容を信用するしかないのが実情だ。

愛知県教委教職員課の土方宗広課長補佐は「処分歴などを都道府県をまたいで共有する仕組みはな